



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 476 (2018. 7. 13)

<今週のトピックス>

Happy Friday!

おしゃべりな方が多い印象のアメリカ人ですが、ちょっとした挨拶をするときは、午前中なら「Have a good (nice, great など) day!」、夕方なら「Have a good night!」、金曜日の仕事が終わったくらいの時間帯なら「Have a good weekend!」というように、「良い時間を過ごしてね」といった趣旨の言葉をかけることが一般的です。

その中でも金曜日は少し変わっていて、朝から「Happy Friday!」と声を掛けられることがしばしばあります。直訳すれば「金曜日おめでとう!」ということですが、「月曜日から仕事をしてやっと金曜日まで来たね」といったニュアンスのようです。早帰りも徹底されている(?)のか、15~16時くらいには満席になっているパブも多いです。私も、アポイントがあって15時くらいにオフィスを出ると、ビルの管理人さんに「Have a good night!」と声を掛けられることがしばしばしばしばあります。

アメリカの労働局 (Labor Department) の統計によれば、アメリカ人全体でみると1日のうち仕事に充てる時間は減り、余暇の時間が増えているとのことです。もっともこれは老若男女全人口合算の統計で、25歳から54歳の層では仕事に充てる時間は増えており、全体の数値が逆に振れているのはアメリカでも高齢化が進んでいる証とのことです (65歳以上の割合は16%)。

確かに、多くの金融機関がオフィスを構えるウォールストリートや6番街のビルは夜中まで灯りが点いていますし、某米銀の方は、金曜日に職場を離れる際の挨拶は「See you Sunday (じゃあ日曜日に)」だとおっしゃっていました。

15時に満席になるパブも夜中まで煌々と電灯の点いたビルもどちらもニューヨークで、やはりメリハリが大事ということかもしれません。上述した米銀の方は、土曜日は「家族とアクティブに過ごす」とのことでした。ワークライフバランス先進国というイメージがありますが、一般的に個人主義と言われるアメリカらしく、「バランス」の尺度や解釈の仕方は人それぞれ、ということなのかもしれません。

(出所: Wall Street Journal)

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。